

抗議文

2022年4月14日

アメリカ合衆国大統領
ジョー・バイデン閣下

日本国大阪府豊中市長 長内 繁樹

貴国が昨年6月と9月にネバダ州の核実験場で臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

豊中市は、非核宣言自治体として、核兵器は住民の生活と安全を脅かす究極の兵器であるとの認識に立ち、核兵器の撤廃を求めており、このたびの実験に対して、厳重に抗議します。

ロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮による核実験再開の兆候など、核兵器使用のリスクが高まる中で明らかとなった貴国による臨界前核実験実施に強い危機感を感じています。今回の核実験は、核軍拡競争を助長し、国際社会における核軍縮・不拡散への取組みに逆行するものです。

被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める多くの人々の願いに背く行為であり、到底容認できるものではありません。

貴国におかれましては、今後一切の核実験の計画を即時中止し、真摯に核軍縮に取り組むよう強く求めます。